



「こんにちは 市長です」

10月20日号

「中性脂肪の数値が高い。尿酸値も」。他の数値はほぼほぼだったが、この二つが特定健診で×マークであった。まあ、この年になればそこそこの×マークは覚悟だけれど、とはいえ意識しないわけにもいかない。適度な運動しなけりゃね。歩いている？ タラコ、干物…あれは食べない方がいいみたい。ビール飲まないものね、そうそうお水をたっぷり飲むのがいいって。特定健診の結果を見せたらあれやこれや忠告してくれる。ほぼ暗記。あとは「やるか、やらないか」だけである。

2018年度、県の医療費が6300億円を超えた。過去最高。5年後には7300百億円、大きく新聞に載っていた。このままではずるずる医療費の重みで深みに入っていきだけ。誰も喜びはしない。がんや心臓、腎臓など治すのに高額な医療費がかかる。そうやってしまえば患者になった方だって、医療費を負担する方だって得にはならない。消費税が10%になって「スマホを使って10%還元」「外で食べれば8%、店内なら10%」なんてやってるけど、そもそも消費税を上げたのはなぜ？ 医療や介護など社会保障費対策であることを真剣に考えなくちゃまずい。ささやかながら、総合健康センターのトレーニングルームやプール、75歳以上は100円にした。ユーランド新田、利根の湯も70歳以上を100円にする予定だ。

団塊の世代がいよいよ後期高齢者になる。日本を一流の国に育てた立役者が団塊の世代の人たちである。だからこそ、可能な限り健康でいてもらいたい。75歳になったら必ず特定健診を受ける。健康意識があるわけだから金券1千円、×マークが少なかったら2千円。改善があったら3千円ゲットできる。どうでしょうか。「健康増進型」保険が契約を伸ばしているようだ。高齢になっても「健康」で生活していくためには…、時代の要請である。